

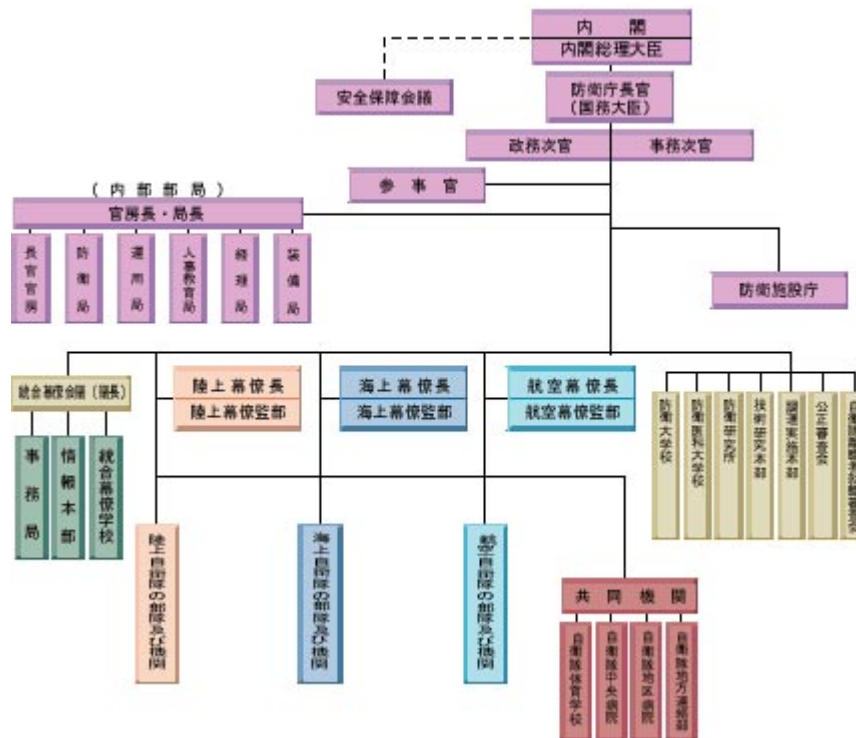
第6章 国民と防衛

第1節 自衛隊と隊員

1 自衛隊の組織と人

自衛隊は、我が国防衛の任務を全うするため、陸・海・空各自衛隊を中心に、防衛大学校、防衛医科大学校、防衛研究所、技術研究本部、調達実施本部、防衛施設庁など、さまざまな組織で構成されている。

第6-1図 防衛庁・自衛隊の組織の概要



自衛隊員は、自衛官、即応予備自衛官及び予備自衛官、事務官などからなる。

2 自衛隊の多彩な部隊

日々の国民生活に貢献している部隊として、第101不発弾処理隊（陸上自衛隊）、水中処分隊（海上自衛隊）、千歳管制隊（航空自衛隊）の活動を紹介している。

練度の高い隊員を育成する教育組織として、レンジャー教育（陸上自衛隊）、潜水艦教育訓練隊（海上自衛隊）、F-15及びF-4機種転換操縦課程（航空自衛隊）の活動を紹介している。

3 日々の教育訓練

自衛隊は、「自衛官の心がまえ」に基づき、強い使命感や優れた技術などを有する隊員の育成に努めている。特に、国際化に対応するため、外国語教育の充実などを進めている。また、各自衛隊は、任務の態様などに応じて、各種の訓練を実施している。

第6-1表 自衛隊の主要演習実績（1997年度）

	演習名	期 間	場 所	主要参加部隊	概 要
陸上自衛隊	北方機動特別演習	97.6.21～7.29	中部方面区～ 矢野別演習場	第10師団など 【人員 約3,600名、 車輛など約1,000両】	長距離機動能力の 練成など
海上自衛隊	海上自衛隊演習	図上演習 97.9.3～9.9	海上自衛隊 幹部学校	自衛艦隊の各司令部 各地方総監部など 【人員 約200名】	1 各級指揮官の 情勢判断及び 部隊運用の演 練
		実動演習 97.11.6～11.12	日本周辺海域	自衛艦隊、各地方隊など 【艦艇 約120隻 航空機 約180機 人員 約34,000名】	2 対潜戦、防空 戦、対水上戦 などの海上諸 作戦の演練
航空自衛隊	航空総隊総合演習	97.9.16～10.6	日本全域及び その周辺	航空総隊など 【航空機 約320機 人員 約27,000名】	防空作戦、艦隊 防空などの演練

自衛隊が教育訓練を行うに当たっては、演習場や訓練海・空域などの制約があり、これに対応するため米国での訓練などを実施している。